

# COVID-19（新型コロナウイルス） 感染拡大防止に伴う 視覚障害者・聴覚障害者が抱える 困難に関する緊急アンケート

---

一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ  
2020年5月4日

# 調査概要

## 【調査内容】

在宅長期化に伴う視覚障害者・聴覚障害者が抱える困難に関する実態を把握。  
特に、生活面・情報取得の面や、コミュニケーションに関する事項を調査。

## 【調査対象】 視覚障害者・聴覚障害者

【調査日】 2020年4月23日（木）夜～ 4月26日（日）

## 【調査手法】 WEBアンケート

## 【回答者人数】

総回答数：165名

内訳：視覚障害者：71名

聴覚障害者（ろう者、中途失聴・難聴者）：80名

重複障害者：7名

その他：7名

## 【回答者年齢構成】

～29歳	22名
30～39歳	30名
40～49歳	54名
50～59歳	29名
60歳～	10名
未回答	20名

# 1.実態把握



1.仕事・学習環境



2.生活環境



3.情報取得

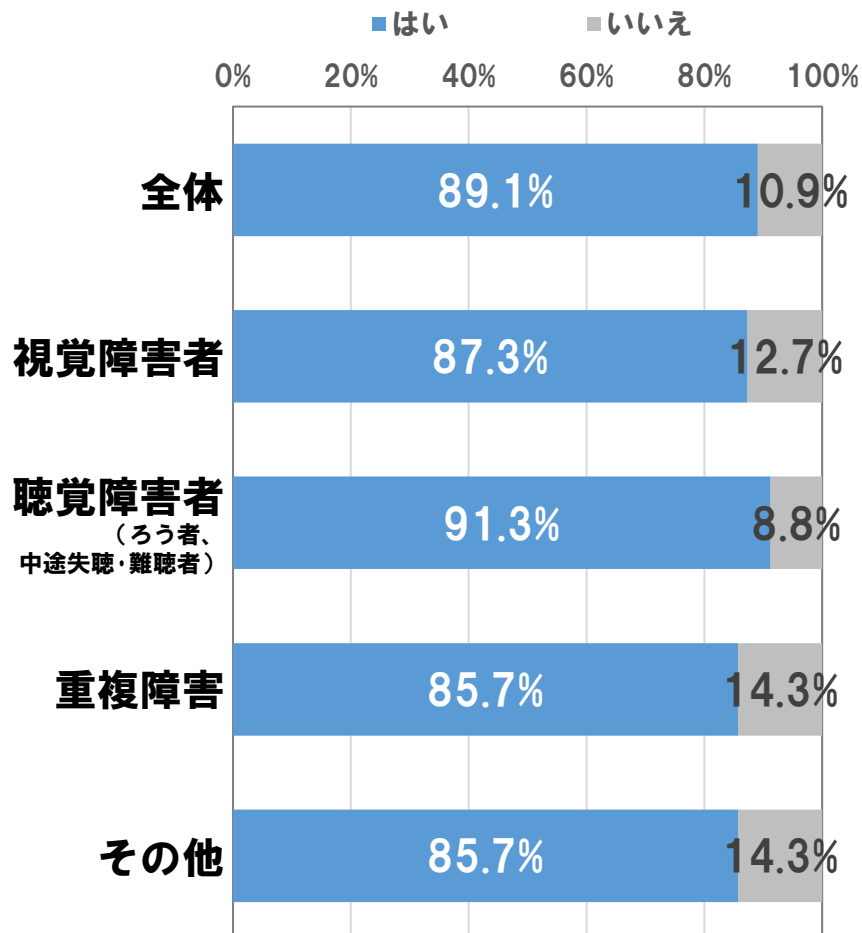


4.コミュニケーション

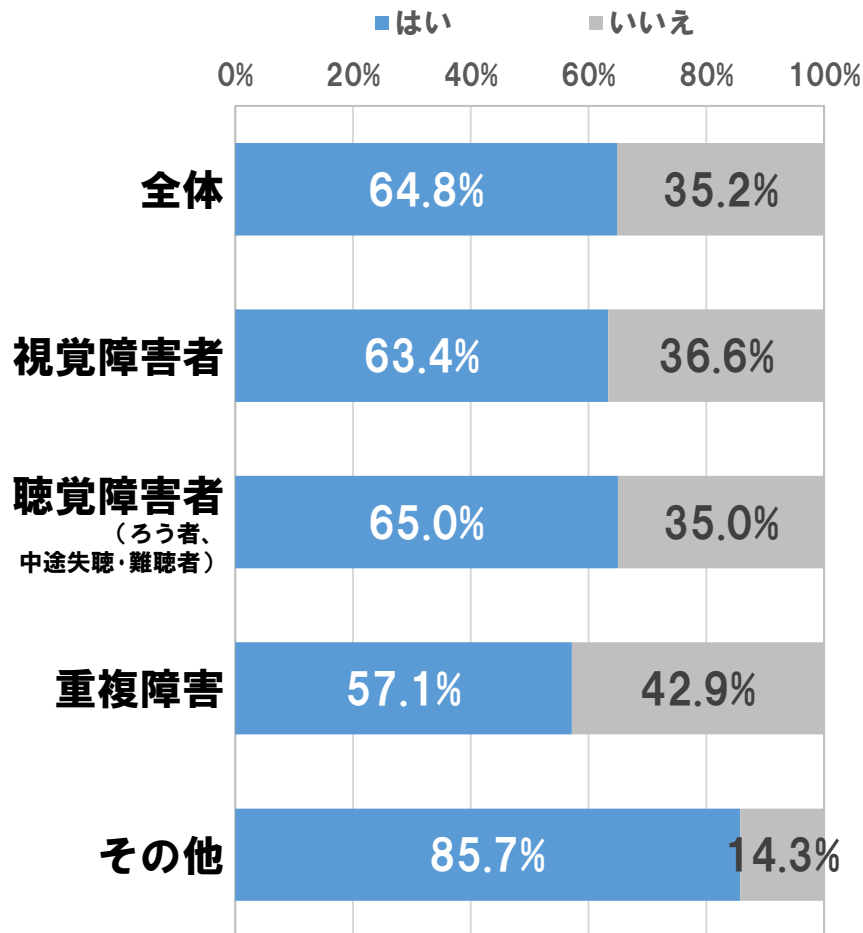
# 1-1.仕事・学習環境の変化

全体の約89%がCOVID-19により「仕事・学習環境に変化があった」と回答  
約65%が現在の仕事・学習環境に不便があると回答

Q4.COVID-19により、  
仕事・学習環境に変化がありましたか？



Q5.現在の仕事・学習環境に不便や不安はありますか？

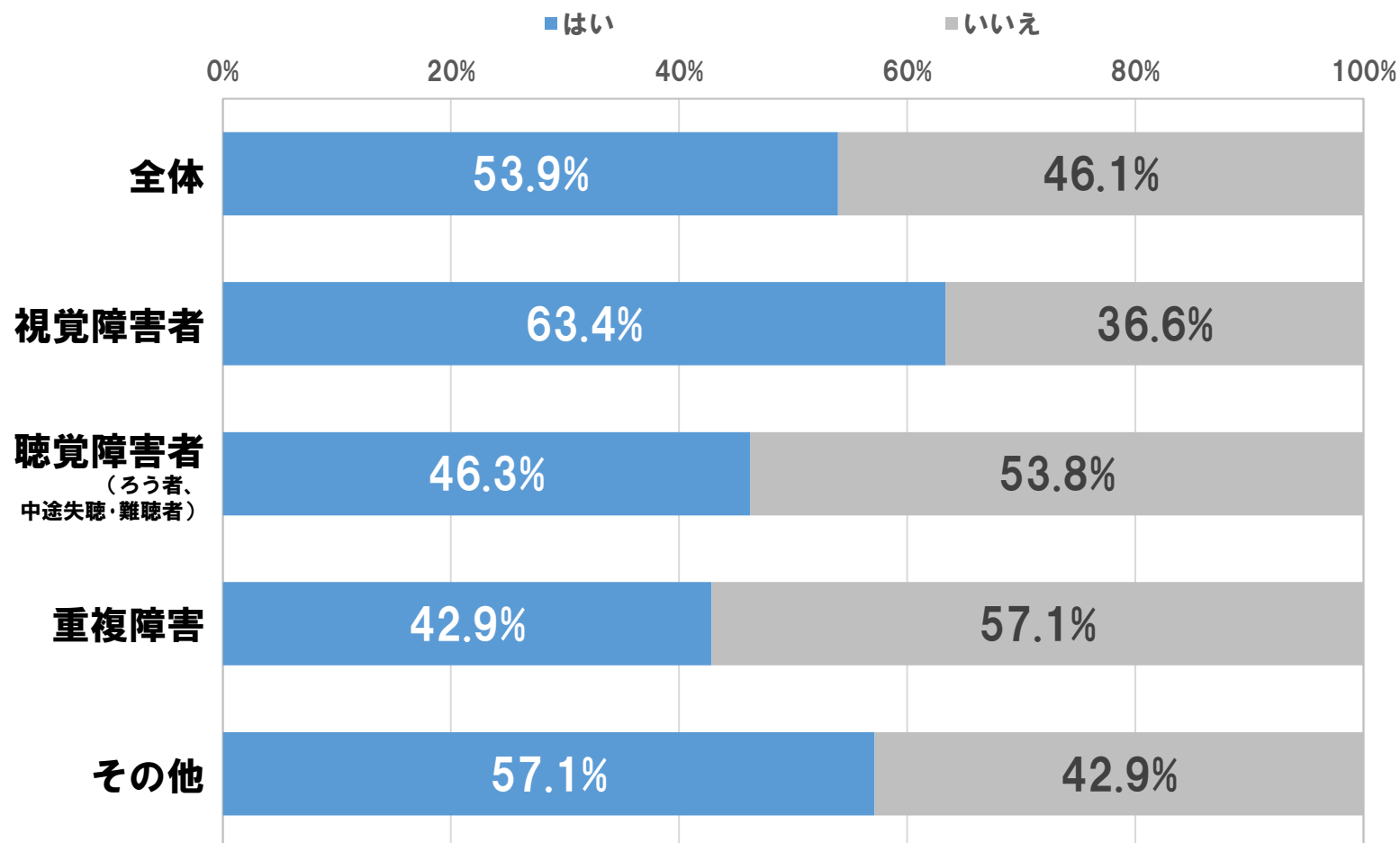


※「重複障害」「その他」はサンプル数30ss以下のため参考値

# 1-1.仕事・学習環境の変化

全体の約54%が「経済的状況や雇用面、学習状況に不安がある」と回答。  
とくに視覚障害者は全体の63%が「不安がある」と回答

Q7.COVID-19により、ご自身の経済的状況や雇用面、あるいは学習状況に不安はありますか？



# 1-1.仕事・学習環境の変化（フリーアンサー）

Q6. 現在の仕事・学習環境について、具体的にどんな不便や不安を抱えていますか？詳しく教えてください。（抜粋）

## 収入面への不安

- ・ 貯金と障害者年金で生活しているが**あまり長く続くと生活がきびしい**。（40代・視覚障害）
- ・ コロナにより、**仕事がなくなった**。いつまで続くのか。（40代・聴覚障害）
- ・ **景気が回復するまで、就職先が見つからないのでは**と不安です。（20代・視覚障害）
- ・ 会社にもしものことがあったら**真っ先に障害のある自分が切られるんじゃないか心配**。（30代・視覚障害）
- ・ 生きている以上何か社会のためになりたいと思うがマッサージ以外で自分になにができるのだろうか  
毎日考えて過ごしている。（視覚障害者）

## 仕事上のコミュニケーションへの不安

- ・ 対面でのコミュニケーションがとれないことが一番大きい。zoomなどのウェブ会議により、口話という手段は消えたためコミュニケーションがとれない。**相手がどう思っているか文面越しから伝わりにくく、冷たく感じる**。（40代・聴覚障害）
- ・ 自担当のオンラインミーティングは音声しか使用せず、**皆と同じタイミングで参加できない**（終了後、議事録を確認する形）（30代・聴覚障害）
- ・ **周りの人がマスクをしており、聞き取りが困難**（聴覚障害・多数）

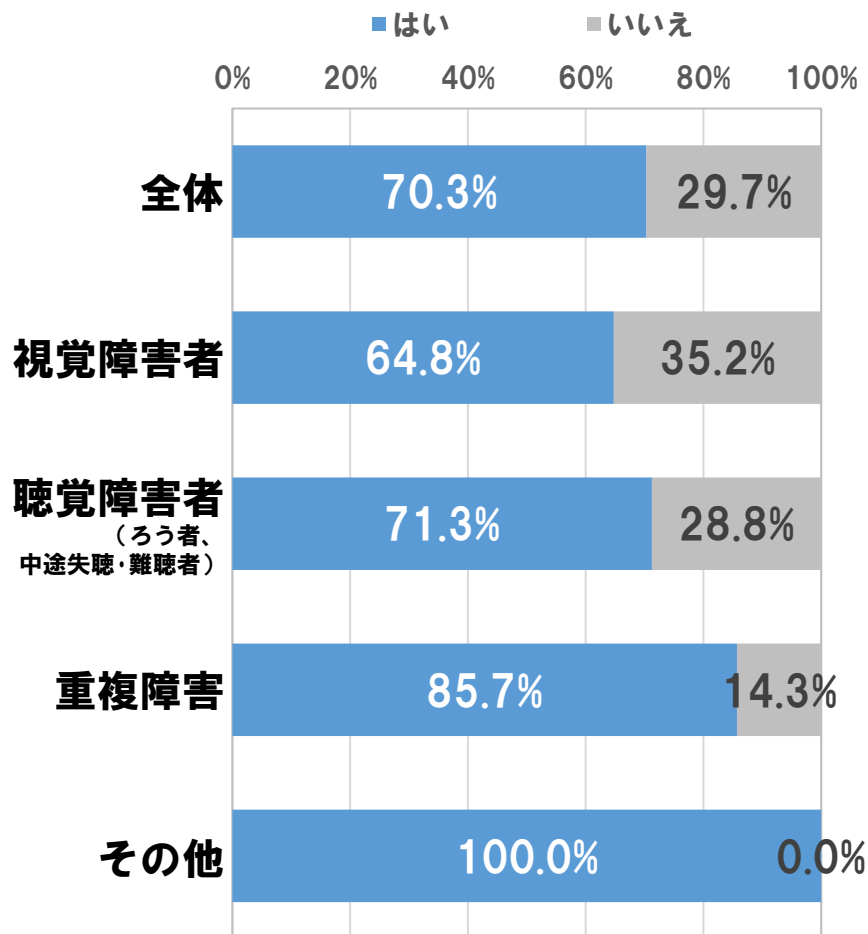
## 学習面への不安

- ・ GW明けから始まる**オンライン授業についていけるかが不安**です。また授業を担当される先生と直接話すことが難しいため、私の障害のことや必要な配慮について、きちんと伝えられるかも心配しています。（学生・視覚障害）
- ・ 今は自宅で自粛中で授業も開始していませんが、このまま感染が拡大しオンラインレッスンが行われることになると、**板書などが見えず授業についていけなくなるのではないか**という不安があります。（学生・視覚障害）

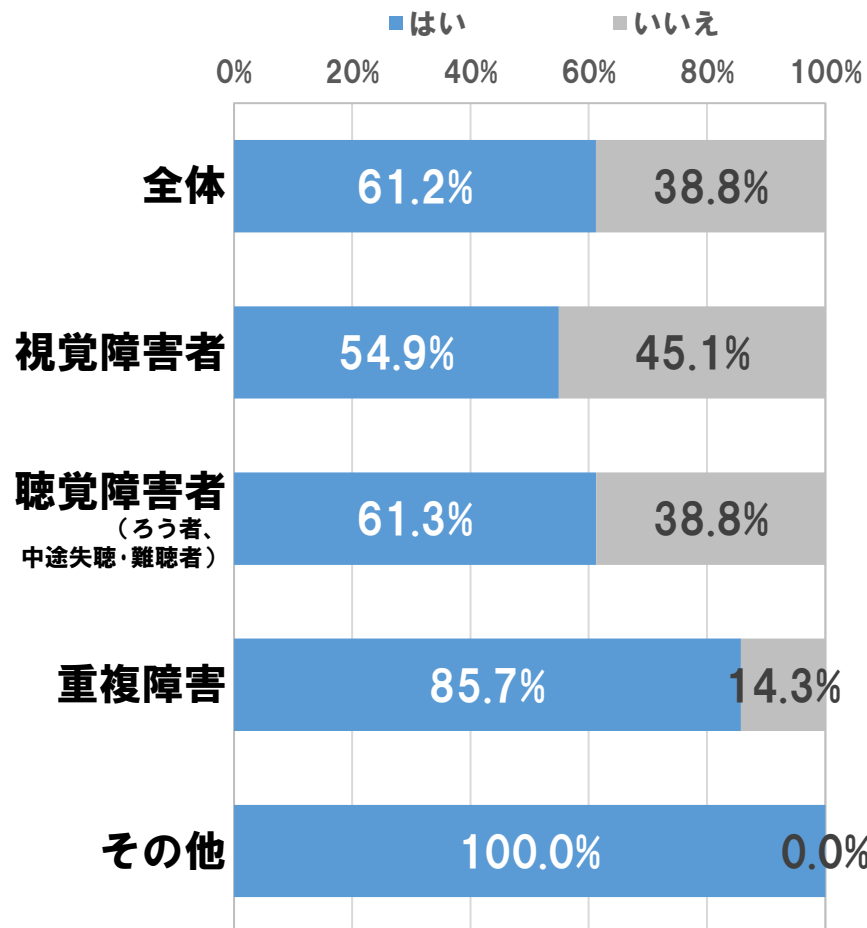
# 1-2.生活環境の変化

全体の約60%以上が「生活や外出面に不便がある」と回答。

Q9.COVID-19により、生活面（買い物、マスク、健康管理等）での不便を感じることはありましたか？



Q10.とくに外出面（仕方がない買い物や健康管理のための散歩や運動、通院、同行援護等）で不便を感じたことはありましたか？



※「重複障害」「その他」はサンプル数30ss以下のため参考値

# 1-2.生活環境の変化（フリーアンサー/視覚障害者①）

Q11. 生活面、外出面について、具体的にどういった不便がありましたか？希望や要望もあればお教えてください。（抜粋）

## ガイドヘルパーや店員、周囲へのサポートへの遠慮

- 1人で歩いているときに誰かにガイドを頼もうとしても頼みづらくなった
- 同行援護や付き添いなどの人と一緒に行動していると周りの目が冷たいといわれてあまり外出できなくなった。
- **ガイドヘルパーさんと散歩に行くのも、感染対策で遠慮**しました。
- スーパーが混んでおり、**人に援助依頼をすることがためられる**。またネットスーパーの予約がとれない。優先的に使えるようにしてほしい、または**商品を注文だけしておいてピックアップできるサービスなどが使えるとありがたい**。
- 白杖歩行は日常的に行っていないと感覚がにぶりそうなので散歩を兼ねて歩いていましたが、**町の人声かけが以前より冷たくなった。危ないっ！という声が多くなりました**。
- 買い物のサポートをスーパーで断られる。**ネットスーパーが予約でいっぱい**

## 感染対策の難しさ

- 弱視なので商品を手に取り、目に近づけなければ見る事ができません。また自分が求めていた商品と違う場合に棚に戻すのですが、**周囲から見たらきっと不快なんだろうと感じています**。
- 入場制限、アルコール消毒のお願いなどの施設側から利用者への通知は張り紙などの視覚情報だけでなく、**音声やWebページでの掲載も併せて行って欲しい**(例:スーパーであれば館内放送での通知。可能ならアルコール消毒の設置位置なども合わせて)
- **物に触れて歩く事で位置を確認する視覚障害のある私たちは、除菌シートなどがないと不安**ですが、お店へ行っても買えません。商品の場所もすぐに分からず、急ぎ足も出来ません。個人的にはマスクより、**除菌するアイテムが国から支給して欲しかった**



# 1-2.生活環境の変化（フリーアンサー/視覚障害者②）

Q11. 生活面、外出面について、具体的にどういった不便がありましたか？希望や要望もあればお教えてください。（抜粋）

## 間隔をあけられないことへの不安

- 感覚をとって並んでください、と言われても見えないので感覚がわからない
- 他の人とのソーシャルディスタンスが感覚的に良くわからない。

## 移動の限界

- 保健所からは車でしか行くことのできない病院を紹介され、公共交通機関は使うなどのこと。自宅待機で熱は下がりましたが、**運転できない中で、遠くの病院にどうやって行けば良いのか、不安ばかり**です。
- 車に乗れないため公共交通機関を使う生活を普段からしているが、感染確率が高く、運行数も減っているため**徒歩圏内による移動のみの生活**をしているが、圏内では**生活するためのものが揃わない**

## 運動不足

- 目が見えないので**1人では外出できず、運動不足**です。
- **一人で走る、家で体操の動画を見て運動することが難しく、急激に運動不足になっているのがちょっと**困りごと。

## 感覚の変化

- マスクをつけると**感覚が狂って歩きづらい**
- **マスクをつけての歩行は多少感覚に影響があり、装着できない時もあった。**

# 1-2.生活環境の変化（フリーアンサー/聴覚障害者）

Q11. 生活面、外出面について、具体的にどういった不便がありましたか？希望や要望もあればお教えてください。（抜粋）

## マスク着用によるコミュニケーションの難しさ

- 街中がマスク姿の方ばかりで、**口元を読む事で補っていたコミュニケーションがとりづらくなった。**  
近くに行って、**筆談もお願いしづらい。**感染予防のためのアクリル板や、ビニールカーテンも、**コミュニケーションのバリアになっている。**
- マスクをしているため**聞き取りにくい**
- マスクの方たちばかりなので、店舗でのやり取りも苦勞します。通常なら「マスクを…」と頼めるのですが、**今は安易にマスクを外してほしいというお願いはしにくいです。**
- すべて**レジスタッフが何言ってるのか全く分からない。**
- ほとんどみんなマスクをしているので、話しかけられても、**話しかけられているということ自体に、気づけない。**  
相手は無視されたと**気分を害しているかもしれないと思うと申し訳ない。**

## 筆談への遠慮

- 筆談も**ペンの貸し借りをしないよう気を付けている。**
- マスクをしているため、筆談をお願いするが、**自分のペンを渡すとき、ためらいを感じる。**

## 音声情報優位の困難さ

- 薬局開店前に並んだが、店員がメガホンで何かお知らせしていた。列から人が何人か抜けていく様子を見てマスク入荷ないお知らせ？と予想したが、**わかりやすい案内が欲しい。**
- こんな時に体調を崩したりけがをしても、**ほとんどが電話対応のため病院などはどうすればよいのか分からない。**
- 電話リレーサービスを使ったが、**いつもより対応業者が少なかった。**

# 1-2.生活環境の変化（フリーアンサー/重複障害者）

Q11. 生活面、外出面について、具体的にどういった不便がありましたか？希望や要望もあればお教えてください。（抜粋）

- **政府や地方自治体から外出自粛要請が出ているからと言って、むやみに駅ビル等の来店者用エレベーターを止めないで欲しい。**

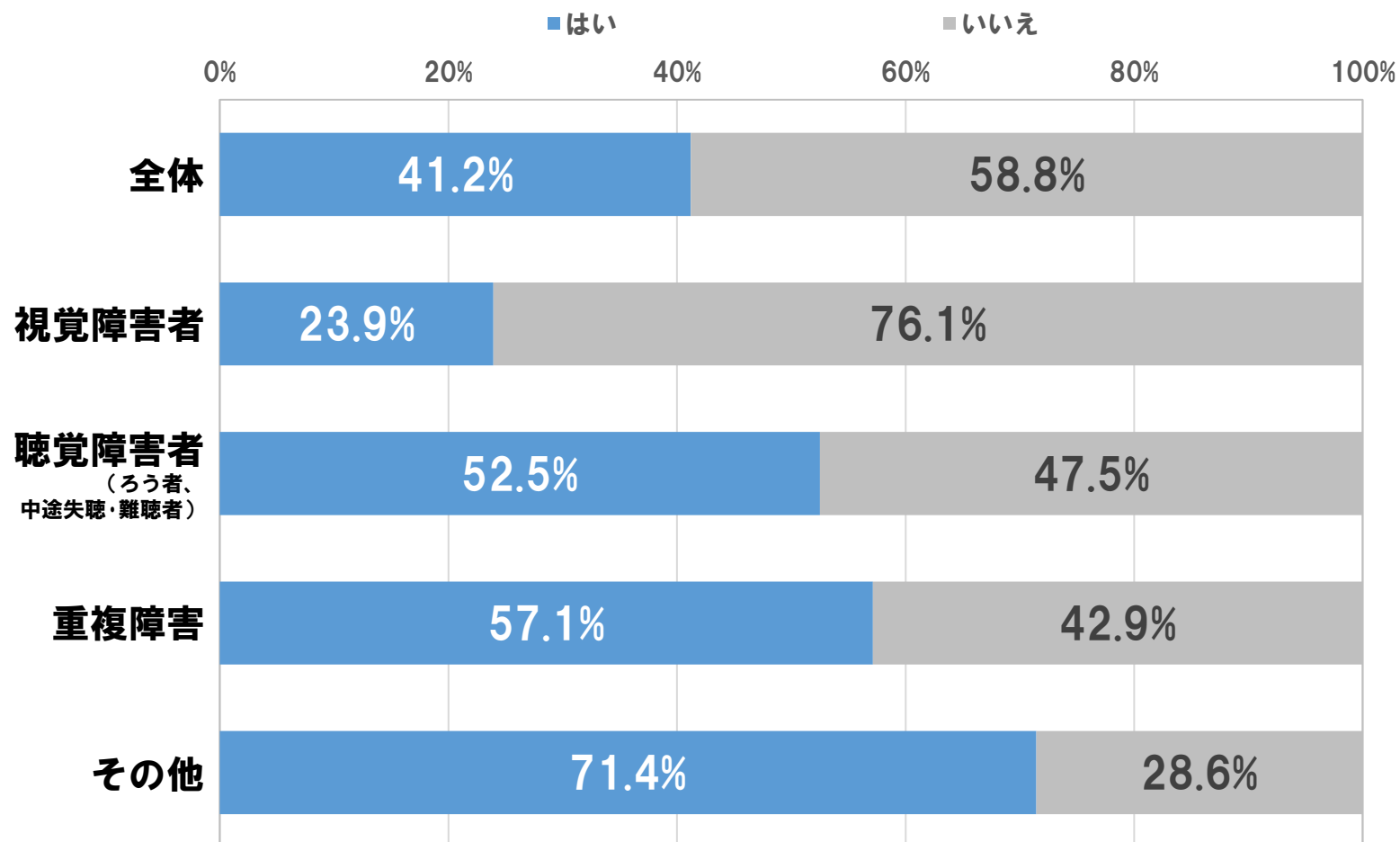
聴覚障害以外に肢体不自由もあるので、電動車椅子を使用しているが、人が多い場所の駅ビルにやむを得ない買い物をしに行ったら、目的のお店以外のほぼ全てのテナントが休業しており、来店者用のエレベーターも止まっていた。くだんの駅ビルは車椅子非対応のエスカレーターしか動いておらず、お店の閉店時間際だったので、お店に行くのを諦めようとしたら、ちょうど傍にいらした方が保安所に連絡して下さり、従業員用エレベーターを使わせて下さった。

- **一人で外出ができず、親を頼っている。**

# 1-3.情報取得の変化

全体の約41%が「情報取得について不便がある」と回答。  
とくに聴覚障害者では半数が不便と感じている

Q12.COVID-19に関わる情報取得において、不便を感じたことはありましたか？



# 1-3.情報取得の変化（フリーアンサー/視覚障害者）

Q13. COVID-19に関わる情報取得において、具体的にどういった不便がありましたか？  
希望もあれば合わせてお教えてください

## 画像・映像データの多さ

- 視覚化された情報が多いため、正しい情報がなかなか届きません。
- 今日の感染者は、この様になっています。この様に推移しています。と言われても分からない。
- コロナの特設サイトが見にくく、見たい情報をすぐ得られない。
- 画像に詳しいデータがある場合にこちらをご覧ください、と言っても見えないので**テレビの司会者は説明をして欲しい。**
- TVでの生活情報の中で、手づくりマスクやストレッチなどの説明やオンライン情報では、**映像での説明が多く、言葉での説明がないため理解できない。**

## 読み上げ機能の未対応

- テレビのDボタンでの情報が早かったが、読めないので**晴眼者に読んでもらった。**
- 厚生労働省の統計が**画像データで読み上げてくれなかった**
- LINE x 厚労省のアンケートを応えようとしたが**開くことすらできなかった**

# 1-3.情報取得の変化（フリーアンサー/聴覚障害者）

Q13. COVID-19に関わる情報取得において、具体的にどういった不便がありましたか？  
希望もあれば合わせてお教えてください

## 手話通訳・字幕が不十分、選択

- 手話通訳、字幕がないところが多かったが最近は大いぶ解消されつつあると思う
- 手話通訳だけではなく**字幕もあれば、、、もっと良い**
- 手話通訳が付いていないと情報が入ってこない。あっても**LIVE以外は省かれてしまう**ため最新の情報が取れない。
- **再放送時の手話通訳者ワイプが外されてしまうこと。**
- コロナウィルスに関するCMも増えているが、**CMには字幕も手話もないので、命に係わる優先度が高いものからでも字幕も手話も付与してほしい。**あらゆる放送や動画には必ず字幕も手話も多言語対応をしてほしい。
- **手話ワイプが小さすぎて読み取れない。**
- **テレビしか見る楽しみがないとき、コマーシャル含め全部に字幕がほしい！**

## コミュニケーション方法が少ない

- 「**コミュニケーション支援ボード**」のようなものを**全国統一して作ってほしい。**
- **聴覚障害者などが安心して検査を受けられるように、検査の手順等をイラストや文字で示し、指をさすだけで伝えることができる**

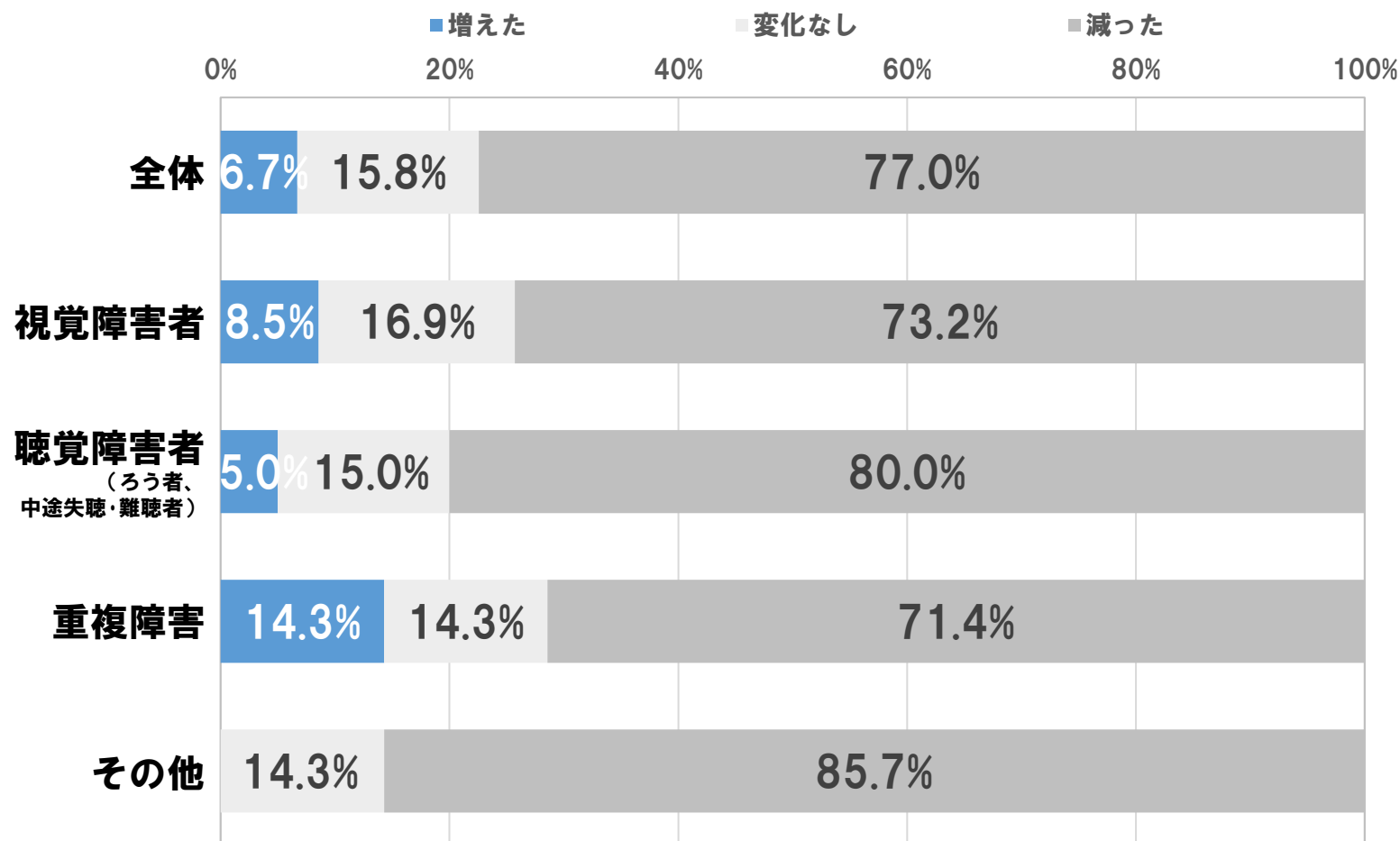
## 電話対応のみが多い

- **保険相談で電話番号ばかり**で困っています
- 地域のコロナウィルスに関する相談や情報は電話が中心なので、**メールやラインでも対応してほしいです。**
- 家族が体調不良でCOVID-19の恐れを感じて、FAXで聴覚障害があることも伝えたくて、問い合わせをしたのですが、返信が2日後でした。その間不安でした。さらによく届いたFAXに書かれていた内容の最後に「**悪化した場合は、電話でご相談ください**」という一文が書かれていた時には**ガクツとしました。**
- 病院診察が電話対応になったとき、**どうやって診察を受けるのか**

# 1-4.コミュニケーションの変化

全体の約76%が「人とのコミュニケーションの機会が減った」と回答

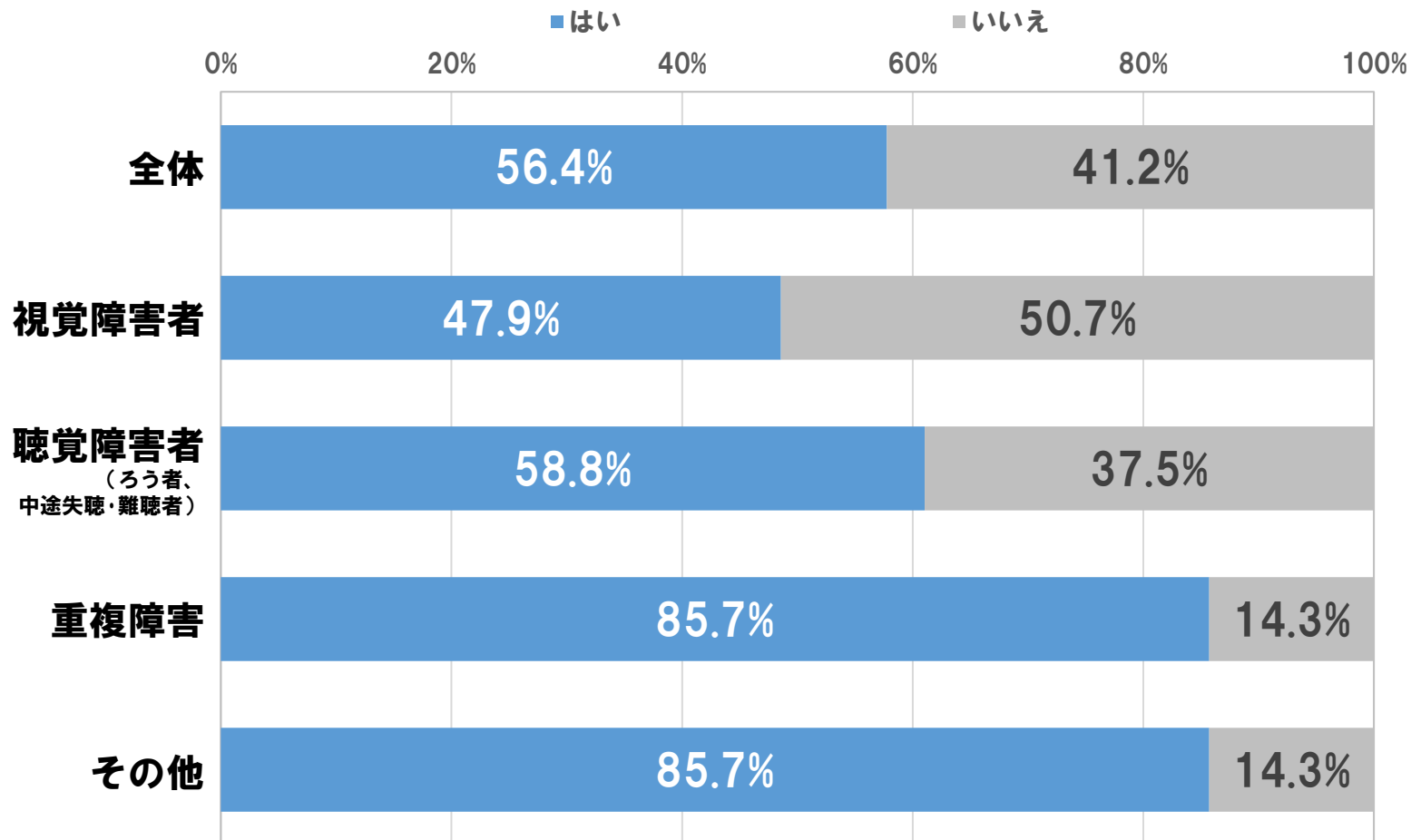
Q14.COVID-19感染拡大以降、人とのコミュニケーションの機会は減りましたか？ 増えましたか？



# 1-4.コミュニケーションの変化

全体の約56%が「人との人とのコミュニケーションにおいて、不安や心配を感じる」と回答

Q15.COVID-19感染拡大以降、人とのコミュニケーションにおいて、不安や心配を感じたことはありましたか？  
対面、オンラインどちらでも結構です。





# 1-4. コミュニケーションの変化（フリーアンサー/視覚障害者）

Q16. 人とのコミュニケーションにおいて、具体的にどういった不安がありましたか？

## オンライン対応の難しさ

- 視覚障害者の為、オンライン面接が出来ないです。
- オンラインを使うことに慣れていない。
- ズームやラインでのコミュニケーションが取れる人とそうでない人の格差が大きいと感じる。
- 少し音が途切れただけで話の内容が分からなくなる。対面であれば感じられる相手の存在を感じにくく、**見えている人と対等でない感じがする。**
- 複数人で話す場合、声の方向などが頼りにできず**誰が話しているかがわかりにくい。**

## 街の変化への不安

- 外出先ですれ違う人同士が言葉を交わさず会釈のみと変化したことで、町の様子がわからず、**声をかけていただくことも減少し孤独を感じる。**
- オンラインで繋がれたものの、**1番大切な人との繋がりを肌で感じる視覚障害者にとって、音声だけではとても心細い。**学校再開しても**先生の支援を貰いながらの学校生活になるので接触が避けられないし、**通学に関しても公共交通機関を利用するので緊張する。
- 外出時での**人との接触を避けるため、コミュニケーションでの物や場所の確認がしづらくなり、**町の人との触れ合いが、**この先もとに戻るか心配**です。

# 1-4.コミュニケーションの変化（フリーアンサー/聴覚障害者・重複障害者）

Q16. 人とのコミュニケーションにおいて、具体的にどういった不安がありましたか？

## コミュニケーションの方法の制限

- マスクで聞き取れない、読み取れない、電話での会話が難しい
- 筆談だとどうしても近くなる、接触の可能性も高くなる
- 手話通訳を頼みにくい。（通訳者が通訳に来ることでの感染リスクを考えてしまう）

## おいてけぼりにされている感覚

- 1日中周りで内緒話状態。メンタル的にきつい
- 色んな人に迷惑をかけているのでは、という不安。またみんなが大変な時期でもあるので、マイノリティの支援までは手が回らない。音声認識アプリの協力も定着していないので、忘れ去られていく感覚を覚えます。
- SNSで、動画発信が増え、字幕のない動画が増えてきた

## オンラインでの情報保障

- 今までは社内での会議はUDトークやPC要約筆記が入っていたがzoomになると字幕機能があるが、イマイチ使えず、完全に孤立した状況
- オンラインだと画像越しに口を読むのは難易度が高いし、多少の向き加減で読み取りが難しくなる（リアルだと自然と自分が読みやすい位置に微調整できる）というニュアンスが相手には伝わりにくく、関わりが薄くなっていくことを不安に感じます。

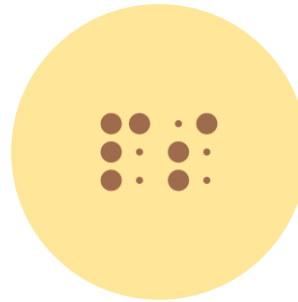
## 【重複障害者】

- 聴覚障害だけではなく言語障害もあるので、テレワーク期間中に行われる**テレビ会議ではなかなか他の参加者とのコミュニケーションが取れない**。私の職場の場合、テレビ会議中でも**他の参加者の意向でカメラは切っている**ので手話は使えない。

## 2. ポジティブな側面



1. 人のあたたかさ  
の実感



2. 障害の捉え方  
の変化

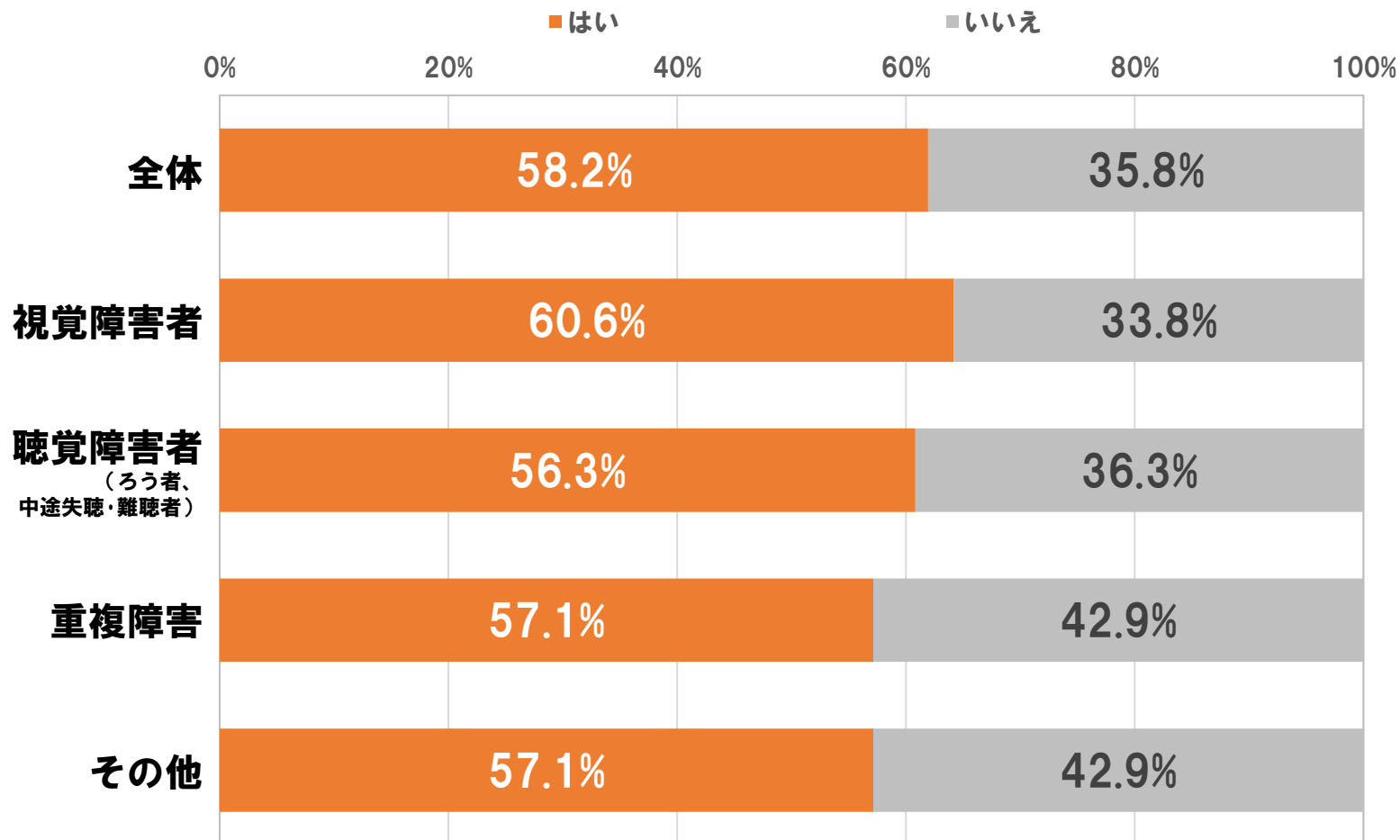


3. 技術革新への  
提案と期待

## 2-1.人のあたたかさの実感

全体の約58%が「人のつながりや人のあたたかさを感じた」と回答

Q17.COVID-19感染拡大以降、人のつながりや人のあたたかさを感じることはありましたか？



## 2-1.人のあたたかさの実感（フリーアンサー）

Q18. 人のつながりや人のあたたかさを感じたのは、具体的にどのような瞬間でしたか？

見知らぬ  
人から



- **三密が言われ出してから**も、駅ホームなどで声をかけてくれ、**誘導してくれる人がいる。**
- 駅のホームで電車が到着した際、躊躇なく声をかけて手を引いてくれた女性がいました。**その躊躇なく、というところに人の持つ純粋な優しさを感じました。**
- 近所のコンビニでマスクがあるかどうか尋ねていたら数日後私のために取っておいてくださったり、スーパーに父と買い物に出かけたら（今日はお買い物大丈夫ですか？ご案内しましょうか？）と声をかけてくださったり、ドラッグストアで買い物サポートをお願いした時、**いつも通り一緒に腕を持たせてくれて歩いてくださった。**
- 店舗でも私がきこえないと気付いてくださった方は**一生懸命ジェスチャーで伝えようとしてくださったことがうれしかったです。**
- 病院の看護師さんが、この状況でもマスクを外して対応してくれた。**聞こえない不便さをよく理解してくれていたこと。**
- 初めて会った方で元特別支援学校の男性の先生がいらっしゃいます。「**私たちのほうで何か気をつけておいた方が良いことがありますか？**」と言ってくださいました。感動で涙が出そうでした。中途失聴者になり3年。皆様に迷惑をかけて申し訳ない、聞こえなくてすみません、という気持ちで暮らしています。**こんな私を思って言葉がけをしてくださる方に出会えてしあわせでした。**
- 駅ビルの来店者用エレベーターから止まっていた時に、**傍にいらした方が保安所に連絡して下さった。**

## 2-1.人のあたたかさの実感（フリーアンサー）

Q18. 人のつながりや人のあたたかさを感じたのは、具体的にどのような瞬間でしたか？

知人・  
仕事場で

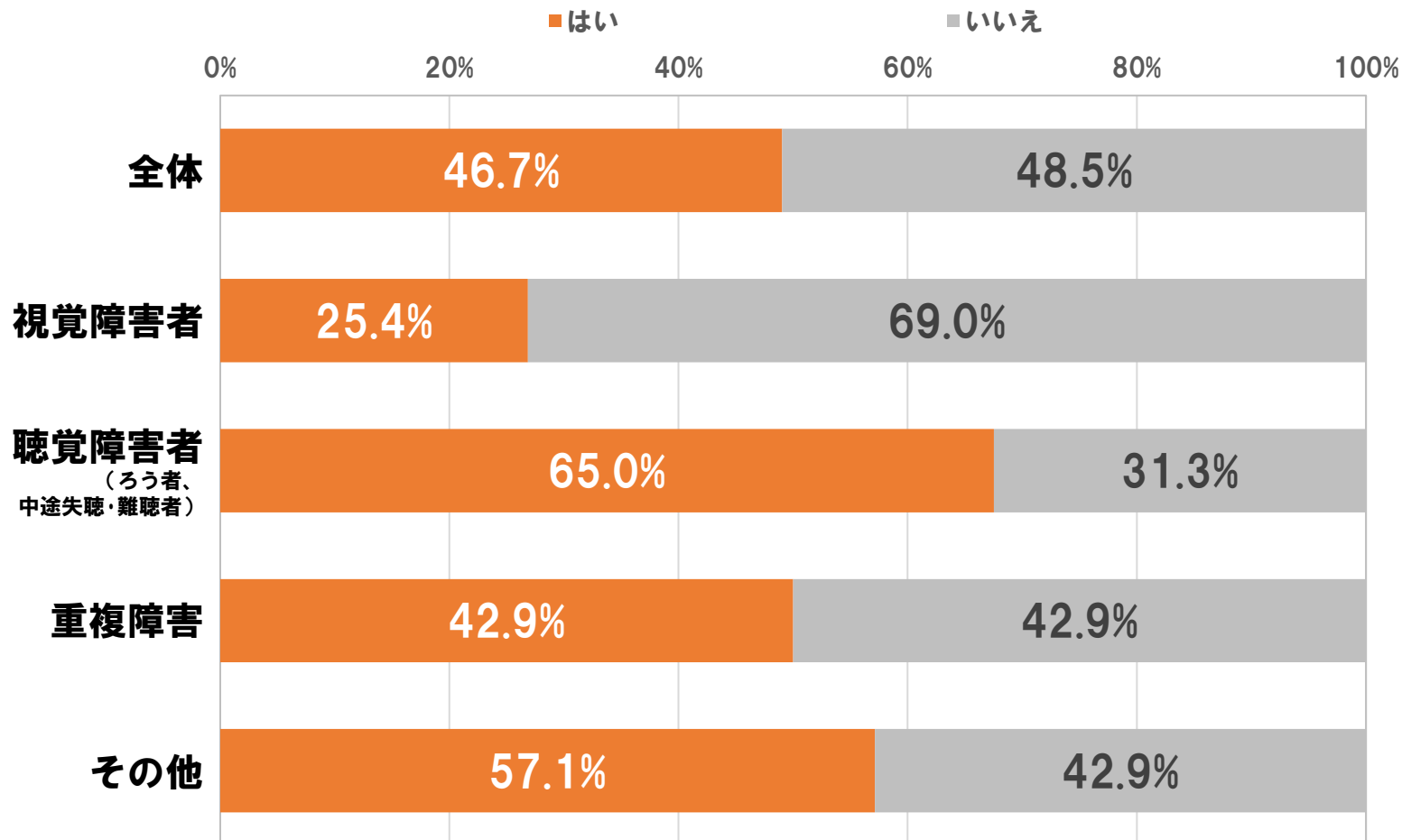


- きこえないわたしのことを知っている人は**マスクをはずして話してくれたり、メールで学校情報を流してくれたり**とこぼれ落ちそうな情報を提供してくれた友達がありました。
- オンラインの時、UDトークを使ってもらえるように配慮をお願いしてるが**全員がそのようにしてくれること**
- テレビなどで当事者の声を取り上げられているのを見て、「知らなかった…」 「確かに…」とハッと気が付いて、そのことを連絡してきてくれた人もいた時は、**距離がさらに縮まった気持ちになりました。後手後手に回されたり、取り残されたり、いつも孤独だったろう者の気持ちや立場を理解し、気遣ってくれたこと。**

## 2-2.障害への受け止め方

全体の約46%が「自分の持つ文化を大切にしたい、誇りだ」と回答  
とくに、聴覚障害者の67%が自分の文化や言語、障害に肯定的

Q20.COVID-19感染拡大以降、自分の持つ文化（視覚・聴覚以外の感覚を使う、手話を使う等）を大切にしたい、  
誇りだと感じた瞬間がありましたか？



## 2-2.障害への受け止め方（フリーアンサー）

Q21. どのような場面で、自分の持つ文化（視覚・聴覚以外の感覚を使う、手話を使う等）を大切にしたい、誇りだと感じましたか？

見えないからこそ  
みえるもの。



- 元々目に見えない世界の中にいますから、**目に見えないウイルスを恐れることはない**です。今は健常者も障害者です。
- 自由に動き回れないことが普通なので、**週末の自粛要請でもさほどくにならない**
- ウイルスはみえない みえないものへの恐怖があるようだが、視覚障害になり**みえないものへの恐怖や不安がすくなくなったので いまもそんなに不安ではない**なおもっている
- 視覚障害の人とZoomをしていると、みんな「何の音？」という話題で盛り上がるのが楽しい。**いろんな感覚を刺激していたいと思えていることがうれしい。**
- **普段から耳からの情報で楽しんでいる**こともあり、ラインやズームを使ってグループでのコミュニケーションに満足できているところ。
- コロナは見えない敵です。生まれた時から見えない私にとって、**見えない敵を想像するのはそんなに難しくない。**

- **フィジカルディスタンスを保ちながら会話ができる**（大声を出す必要がない）
- 手話は唾が飛ばないので…
- **アイコンタクトがうまく取れる**
- コの字型になっているマンション廊下のあっちこっちで、手話で会話できたとき
- いつものように笑顔が消えた世界で買い物をしていると、**レジのスタッフが手話で話しかけてくれた。ポツと花が咲いたように嬉しい瞬間でした。**
- **表情やボディランゲージには声や音以外に乗せることが出来る気持ちがあると信じています。**

聞こえないからこそ  
聴こえるもの。





## 2-3.技術革新への提案と期待（フリーアンサー）

Q19.人とのつながりやコミュニケーションにおいて、今後、どのような機会やツール、発展等を期待しますか？

見えないからこそ  
みえるもの。



- **iPhoneは、視覚障害者にとって、有効な、手軽な媒体**です。福祉制度などで、誰しものが持てる、環境を作ってほしい。
- **音声認識機能が標準搭載**したビデオ通話サービス
- **晴眼者と視覚障害とが、集まれる機会**を都会だけでなく**ローカルな地域でも**増やして欲しい。

- 話した内容全てを**色で誰が話したかわかりように文字化**するツール
- **ビデオチャットとUDトーク**(又は別のアプリ)の**両用実現**  
例:字幕付きビデオチャット、会議アプリなど
- 現在のビデオ会議システムでは手話話者にとって重要な「視線」や「空間」を用いた表現が難しい。人が慣れる方が早いかもしれないが、**VR技術の進歩などで実際に会っているのと変わらない環境が再現できる**ようになることに期待しています。
- どの会社でも聴覚障害者を雇うと同時に**手話通訳士の採用も検討するよう法律化してほしい**です。
- **透明マスクの普及**、都知事、総理演説や、官報報道際の、ワイプではなく、**横に立つ手話通訳者の配置、リアルタイム字幕の正確さ**
- UDトークをめんどくさがらずに使ってくれること
- zoomなどの利用して**マスクをせずにお互いの顔を見れるから安心**

聞こえないからこそ  
聴こえるもの。



見えないからこそ  
みえるもの。



聞こえないからこそ  
聴こえるもの。



- 世の中が、さまざまなコミュニケーションツールをいつでもどこにいても選択できるようにしていくべき
- 当事者からの声をテレビでも取り上げていただけるようになってきたことを感じました。当事者の声を今後も継続的に伝えていけるような機会があるとうれしいですし、COVID-19が落ち着いても社会的に弱者と呼ばれる人が元通りの環境になってしまわないような工夫をしていけたらと思います。
- 聴覚障害の方とビデオ通話などする場合は口をはっきりと動かすことや視覚障害の方と話す時はしっかりと言葉を話すなど、オンラインでしかコミュニケーションが取れないこんな時だからこそ相手のことを考えられるいい機会になると思う
- こういう時だからこそ、声の掛け合いをすることによって、ご無沙汰の方ともコミュニケーションが増した。
- この気持ちを終息後も持ち続けることが、優しい世界作りにつながると思います。今まで以上にいい関係、素敵なコミュニケーションが生まれてほしい。

見えないからこそ  
みえるもの。



聞こえないからこそ  
聴こえるもの。



- **三密は対話のとても大切なものだったのだと感じる。** コロナ終息後の私たちの身体感覚がどのようになっているのか怖くもあるし大丈夫な気もしている。
- ウィルスに感染してしまった人や、クラスターとなってしまった場所を恐れるがあまりに差別するようなことが横行している。**恐れを向けるのはウィルスであって人や場所に恐れを向けてはならないこれは障害者や障害者施設が様々な差別にさらされてきたことに共通する。** 障害を恐れの対象として捉えてきたことがその原因である。障害を正しく知ることから差別がなくなっていくことと同様にウィルスや感染症について正しく理解し正しい感染予防を冷静に行うことが何よりも大切であると思う
- パンデミックは大きな脅威ですが、**人間の順応性を信じ、それがもたらすコミュニケーションや仕事のあり方、信頼関係の築き方などあらゆる変革を楽しんでいきたいです。**
- **これまで取り残された苦しみ、孤独で寂しかったという苦い経験を今活かされているのではないかと思う。**

# 参考) 質問項目

1. 障害の種類を教えてください
2. 年代をお教えてください
3. 職業をお教えてください
4. COVID-19により、仕事環境に変化がありましたか？(はい/いいえ)
5. 現在の仕事環境に不便や不安はありますか？(はい/いいえ)
6. 【5で「はい」の方】具体的にどんな不便や不安を抱えていますか？詳しくお教えてください
7. COVID-19により、ご自身の経済的状況や雇用面に不安はありますか？(はい/いいえ)
8. 【7で「はい」の方】具体的にどういった不安や心配ですか？
9. COVID-19により、生活面(買い物、マスク、健康管理等)での不便を感じることはありましたか？(はい/いいえ)
10. とくに外出面(仕方がない買い物や健康管理のための散歩や運動、通院、同行援護等)で不便を感じたことはありましたか？(はい/いいえ)
11. 【9、10で「はい」の方】具体的にどういった不便がありましたか？希望や要望もあればお教えてください。
12. COVID-19に関わる情報取得において、不便を感じたことはありましたか？(COVID-19特設サイトが読みづらい・読み上げ用リーダーが使えない、記者会見の際に手話通訳が入らないなど)(はい/いいえ)
13. 【12で「はい」の方】具体的にどういった不便でしたか？希望もあれば合わせてお教えてください。
14. COVID-19感染拡大以降、人とのコミュニケーションの機会は減りましたか？ 増えましたか？(はい/いいえ)
15. COVID-19感染拡大以降、人とのコミュニケーションにおいて、不安や心配を感じたことはありましたか？対面、オンラインどちらでも結構です(はい/いいえ)
16. 【15で「はい」の方】具体的にどういった不安でしたか？
17. COVID-19感染拡大以降、人のつながりや人のあたたかさを感じることはありましたか？(はい/いいえ)
18. 【17で「はい」の方】具体的にどのような瞬間でしたか？
19. 人とのつながりやコミュニケーションにおいて、今後、どのような機会やツール、発展等を期待しますか？
20. COVID-19感染拡大以降、自分の持つ文化(視覚・聴覚以外の感覚を使う、手話を使う等)を大切にしたい、誇りだと感じた瞬間ありましたか？(はい/いいえ)
21. 【20で「はい」の方】どのような場面でそれを感じましたか？
22. COVID-19収束後には、どこに行き、何をしたいですか？(複数書いていただいても構いません)  
その他、伝えたいメッセージや要望等がありましたらお書きください。

**【お問い合わせ先】**  
**一般社団法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ 事務局**  
**info@dialogue-japan.org**  
**<https://djs.dialogue.or.jp/>**